事業所名 グループホーム ひなたの家

目標達成計画

作成日: 平成 22年 9月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流を図って行きたいが、現状は地域性があり、挨拶程度に終わっている。	回覧板や広報の配布をして頂けるよう、地域の一員として交流する。	利用者との散歩中に空き缶拾いやゴミ拾い等のボランティア活動に取り組んでいく。	未定
2	4	運営推進会議について、現状では不定期に開催されている。又地域からの参加者も少なく、内容も毎回同様な傾向である。	運営推進会議の定期的な開催、毎回別の利用者の参加、地域包括支援センターや民生委員からの参加者、内容の工夫等の充実。	開催日を毎2ヶ月後の第何曜日というように決めておく。利用者への声掛け。地域包括支援センターや民生委員への働きかけ。多種多様な内容を考えていく。	未定
3	14	利用者の家族等の都合があり、家族会の開催は難しい。	家族会の開催。	行事等で家族に参加して頂き、そこが家族等どうしの交流の場と考えるので、その場の提供に取り組んでいく。他に面会時に利用者の人権、認知症ケアについて家族等とコミュニケーションを図っていき、今後の利用者の生活をどうより良いものにするか他家族等の意見を取り入れる。	未定
4	37	夜間の避難訓練は実施しておらず、地域の協力も築いていない。	夜間の避難訓練と地域協力への働きかけ。	夜間を想定した避難訓練の取り組みと、地域の一員として認められるよう交流を図っていく。	未定
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。